

# 児童文学セミナー in

# 宇都宮

GIGAスクール構想が進み、バーチャルな世界が急速に広がりつつあります。だからこそ、この機会に子どもが実際に手に取って読む本のよさ確かめあってみませんか？

この秋、子どもの本の作家たちが宇都宮に集まり、児童文学について熱く語り合います。子どもも大人も夢中になって読める本はどうやってできたの？ 構想から実際に本が売れるようになるまでのストーリーは？ などなど…。作家さんたちの本音トークの輪の中に、あなたも入りませんか？

◆月 日 2022年11月5日(土) 6日(日)

◆会場 5日…宇都宮市文化会館 小ホール

6日…宇都宮市文化会館 会議室&宇都宮市立中央図書館 集会室

◆募集対象 未就学児～大人まで \*高校生以下無料。中学生以下は保護者同伴のこと。

## ◆プログラム

【5日 全体会】13時45分～16時45分(受付開始 13時20分)

- ・記念講演……『あらしのよるに』を書き始めたころ きむらゆういち
  - ・トークイベント……『児童文学の可能性』いとうみく、村上しいこ、高橋秀雄
- \*全体会終了後、うつのみや童話の会賞の表彰式を行います。(子どもゆめ基金助成対象外活動)

【6日 分科会】10時～15時(受付開始 9時30分)

- ・分科会……A子ども時代と創作の始まり B創作のためのワークショップ  
C少年詩：詩を味わい楽しみ 語ってみよう D一行詩：詩であそぼう わらおう つくっちゃおう  
E着想から本ができるまで F読書感想文と感想画の書き手たち
- ・イベント……999ひきのきょうたいをつくろう① a・b ちぎってはってカラフル動物②  
きぶなをつくろう③

### 記念講演 きむらゆういち(木村裕一)

東京都生まれ。『あらしのよるに』(絵・あべ弘士 講談社)で産経児童出版文化賞JR賞・講談社出版文化賞絵本賞。作品に『ゆらゆらばしのうえて』『どうするどうするあなのなか』(以上、福音館書店)。自選童話集『きむらゆういち おはなしのへや』(ポプラ社)「あかちゃんのおそびえほん」シリーズ(偕成社)など、絵本・童話創作に加え、戯曲やコミックの原作・小説など幅広く活躍中。著作は700冊を超える。



■主催 (一社)日本児童文学者協会 ■共催 児童文学セミナーin宇都宮実行委員会

■後援 宇都宮市教育委員会、栃木県小学校教育研究会、栃木県学校図書館協議会、栃木子どもの本連絡会  
下野新聞社、NHK宇都宮放送局、CRT栃木放送、レディオベリーFM栃木